

秋山和慶氏の御逝去に伴う川崎市議会議長コメント

秋山和慶氏の訃報に接し、心からお悔やみ申し上げます。

2004年に開館したミューザ川崎シンフォニーホールのチーフ・ホールアドバイザーとして、ミューザの「顔」となり、老若男女の心が湧きあがる音楽を紡ぎ出し、見守り、支え、本市の文化芸術の振興に多大な貢献をいただきました。

ミューザの歴史は秋山和慶氏と共にあり、ミューザはおかげで昨年二十歳の節目を迎え、世界に誇れる音響を持つホールとしてたくさんの人々に愛されています。

そして、昨年7月1日の川崎市市制100周年記念式典では、総勢520名の市民合唱団、オーケストラによる記念演奏を緻密なタクトで温かく導いていただき、本市の多様性を体現した大変素晴らしい式典となりました。

その長年にわたる惜しみない御尽力に深く感謝申し上げますとともに、ここに謹んで哀悼の意を表し、心から御冥福をお祈りいたします。

川崎市議会議長 あお き のり お
青 木 功 雄